

新道の駅の施設テーマ

鼠ヶ関・温海・鶴岡 の“旬”をつないで 手軽にいつ来てもワクワクする道の駅

「道の駅あつみ移転整備事業」

本事業は、施設の設計（D：デザイン）、建設（B：ビルド）、維持管理・運営（O：オペレート）を、事業者に一括発注する「DBO方式」により事業者を公募し、優秀提案者として「株式会社夕陽コミュニティ」を事業者に選定しました。令和7年度の道の駅着工に向けて、事業者と設計・建設請負契約を締結し、現在、基本設計策定に取り組んでいます。

「株式会社夕陽コミュニティの提案概要」

【道の駅施設テーマ】 日本海の自然と食の遊びのテーマパーク“あつみ”

～ 日本海に手が届く道の駅として、日本海の台所で食してもらい、日本海の夕陽の美しさに触れ、摩耶山、月山、日本海のアクティビティの起点となる道の駅を目指します～

- ① 大型屋外遊具のある宿泊もできる子どもの遊び場“親子3代家族連れで楽しめる道の駅”
- ② “自然体験、庄内観光の南玄関口となる道の駅”
- ③ “日本海の台所 海山の6次化商品を地域住民が生み出す道の駅”



新道の駅建物外観イメージ



新道の駅建物内観イメージ



新道の駅建物内観イメージ



施設全体計画イメージ（鳥瞰図）

「開業までのスケジュール」

◎令和6年度：造成工事、施設の基本設計・実施設計、開業準備 ◎令和7年度：施設の建築・設備工事、開業準備 ◎令和8年度：施設完成、開業準備 ◎令和9年度：移転開業（4月下旬予定）

～ 基本設計策定に向けた「地域での取組み」を紹介します～

地域説明会・地域ワークショップを開催【事業者主催】

住民向け説明会 5月14日・16日開催

事業者主催の住民向け説明会が開催され、5月14日の鼠ヶ関マリーナホールには19名、16日の温海温泉林業センターには23名が参加しました。説明会では、施設の基本設計や運営計画の概要、新施設の出店者募集について説明され、参加者は熱心に質問していました。



事業者・生産者説明会 9月4日開催

事業者主催の取引関係者向け説明会が9月4日、温海ふれあいセンターで開催され、道の駅しゃりんの取引事業者53社、農産物出荷者22名（あつみ旬菜会ほか生産者）が参加しました。説明会では、新道の駅での基本的な取引の概要が説明され、参加者には取引の意向調査（アンケート）も実施されました。今後は「個別相談会」により具体的な取引内容を話し合う予定です。



地域ワークショップ 6月19日・7月10日・8月7日 全3回開催

事業者主催の「地域ワークショップ」が6月から8月にかけて3回にわたり、温海ふれあいセンターで開催され、地域の子育て世代や観光・農林水産従事者、地域おこし協力隊、市関係者など、40名ほどが参加しました。参加者はグループに分かれ、夕陽コミュニティグループの事業提案に基づき、意見を出し合い、グループ発表を行いました。

◎意見発表の一例を紹介します（ワークショップのまとめから）

テーマ① 利用者の目線「こんな道の駅になったら何度でも行ってみたい」

A班：「地元客・観光客とも共通するのは地域産品。道の駅を象徴するような食べ物が必須になってくるので、そこは絶対的に必要な要素」

テーマ② おもてなし目線「こんな道の駅になったら大勢来てくれるんじゃないか」

B班：「ベビーカーや歩行器、杖、車椅子など、老若男女の方がいて、子供やお母さん、老人にも優しい施設として、おもてなし（ホスピタリティ）をアピールする」など、参考となる意見が数多く出されたワークショップになりました。

